
スカートはいた

夕焼け

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スカートはいた

【Nコード】

N43840

【作者名】

夕焼け

【あらすじ】

男、花田遼。29歳にしてスカートをはいた。

ー昨日誕生日を迎えて、昨日29にしてやっとスカート男子デビューしてみた。

ウィッグもつけず、メイクもせず、相変わらず山崎邦正ばりのパツツンぼさばさヘアーで。

羞恥プレイ覚悟で挑んだんだけど、ノンケ友達たちからの評判がコレ結構案外よかった。

上は真つ黒のタンクトップの上に、胸元がびろーんって開いてて裾や襟口がボロボロ加工みたいにされてるベージュのヤツを重ねて、その上に、8年前くらいに流行った膝くらいまであるカーキ色のカーディガンを羽織る。

どれも8年前くらいに買って、かなり着込んだものだから、全部ヨレヨレでしわしわなんだけど、それがいい具合に味になったりする。

スカートは原宿の39ショップで390円で買った、茶色の割烹着みたいな形したヤツを、わざと雑巾みたいにねじってシワシワにして、その下には黒のレギンスをブーツとスカートの間に数センチ見える程度に穿いて、靴はなんかタグに「GT」とか書いてある、いかにも登山用ですみたいな安っぽい感じのブーツ。

全体的に「一歩間違うとお婆さんとかがしてそうなファッション」なんだけど、そこは明るめのオレンジのベリーショートと黒プチ眼

鏡でコントラストをつけて「わざとくたびれた感じで着てるんだよ」感をアピールしてみる。

体型や顔立ちが合えば、これ結構、男がやつても違和感なくやれるスカートファッションだと思う。

ただ、僕自身顔立ちや体型が良くも悪くもかなり個性的というか、普通の人が普通に似合うようなものが面白いくらい全く似合わない人間だから、僕に似合うファッションが、一体どれだけの人に適用出来るかは疑問なのだけど。

まっ黒のぴちつとしたスカートは、スカート男子な方々が昨今では揃いも揃って穿いてるから、あまり面白みを感じなくて、だからあくまで自分流を意識してやってみた。

民族系をそのまま使っじゃなくて、民族系ファッション用じゃない作りの服を重ねて、民族っぽくしてみたりして。

スカートは、飽きたら股下の部分を自分で縫って、サルエルパンツというかニツカボツカみたいな形にしてみても、別の用途で使えそう。

390円で買ったわりには、色、形の評判も上々だった。

まあ、昨日がスカートデビュー第一日目だし、これからもつと色々研究してみようと思うんだけど、もし「スカートを穿いてみたいが勇気が無い、あんまりキャピキャピした女装や、熟女スタイルのファッションも着こなせる自信が無い、落ち着いた感じの、男でも女でもいいけそうな、自然な感じのメンズスカートファッションを目指したい」みたいな人がいたら（まあほとんどいないだろうけど）、何かしらの参考程度にしてみられればと思う。

しかし、友達と居酒屋で飲んだんだけど、トイレが非常に困った。おしっこするにも、男用のトイレだとスカート上までまくらなきやだし、個室のトイレは狭すぎてスカートが汚れないか気になっちゃってしょうがない。

スカートにはポケットってものが無いから鞆必須なのだけど、鞆は昔行きつけのお店で服買った時に、店員さんがオマケでくれたボロボロのバッグと、オカンから貰ったポーターの真っ黒の、やたら作りのいいバッグしか持ってなくて、基本財布しか持ち歩かない人間だから今まではそれで困らなかつたのだけど、スカートファッション用のほどよく安っぽくて手作り感のある鞆とかも欲しいなと思った。

スカートを穿いて街を歩くのはなんか楽しかった。

友達も「今日の遼のファッションめっちゃお洒落だわ」って、結構マジな感じで褒めてくれた。

嘘のつけないヤツだし、そいつ自身「ファッションが趣味」って言ってるくらいお洒落に精通してるヤツだから、お世辞で言ってくれてるんじゃないくて、本心で言ってくれてるって分かって嬉しかった。

彼や、一緒に行った女の子がマンセーしてくれたおかげで、自信をもって街を歩けたっていうのもある。

自分みたいな臆病な人間にとって、「自分が頑張った時、嘘やお世辞じゃなくて、ちゃんと認めてくれる人」がいるっていうのは、と

ても心強い。

あと、一昨日くらいからT・S LOVEっていう女装子用のSNSをはじめてみたんだけど、その人たちの影響も大きい。

彼ら（あるいは彼女達）の多くは、そもそもの入り口の段階で「自分の心の性に正直になるために、肉体の性の事実に対抗」ってところから始まって、それを克服して、その上で笑って生きてる。

彼ら（あるいは彼女達）は、とても寛容な態度で、僕の臆病な気持ちを汲み取って、優しく僕を迎え入れてくれた。

それはやっぱり、悲しみを知らない強さじゃなくて、辛さや苦しさや寂しさや悲しみを抱えて、自分なりに克服しようとして頑張ってきて、そうやって笑える日々を手にした人たちだからこそ、心に気高さや余裕のある優しさなんだと感じた。

あの人たちの、身のしつかり詰まった励ましのおかげで、今までビビって踏みとどまってた一歩踏み出す事が出来た。

自分の無力さを感じると同時に、人と支えあって生きる事の意義もまた強く感じた。

今後は、アラサーの男子でもいけそうな化粧とかウィッグを研究してみようと思う。

久しぶりに、単純に、純粹に、わくわくした気持ち。

今。

男とか、女とか、二項対立的な考えじゃなくて、ただ自分の中にある漠然とした曖昧な形を、曖昧な形として体现する方法があるんだって事、批判を恐れずにやってみれば、案外評価してくれる人もいるんだって事を、身をもって知った。

今までよりもちょっと、臆病にならないで色々頑張ってみたい。やっとなんと頑張れそうな気がする。

ありがとう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4384o/>

スカートはいた

2010年10月22日00時50分発行